

教育委員会だより

恵那市教育委員会 総務課

TEL 0573-43-2112

平成 25(2013)年 1月発行 No.1

教育委員長就任あいさつ



この度教育委員長に就任いたしました井口道雄です。重責ある立場に身の引き締まる思いで一杯です。皆様方の格別なるご支援ご指導をいただきながら誠心誠意務めさせていただく所存でございますのでどうかよろしくお願いいたします。

恵那市は、平成23年4月に「生涯学習都市—三学のまち恵那宣言」を行ないました。郷土出身で江戸時代の儒学者佐藤一斎の教え(言誌四録)を生かした「まちづくり」に取り組んでいます。

井口道雄教育委員長

人は、生まれてから亡くなるまで一生涯を通じて様々な機会や場所で学び続けます。その中でも中核になるのが義務教育である小中学校での学びです。人として学びの基盤ができるこの時期にこそ児童生徒一人ひとりに「学ぶ意味」「学ぶ方法」「学ぶ楽しさ」を体得させる必要があると強く思います。言い換えれば、「学びへの主体性の育成」です。もっと平たく言えば「よく学ぶ子」の育成ということになるでしょうか。

いずれにしましても、恵那市がめざすまちづくりには、学んだことを積極的に生かす資質ある人材が必要です。今進めている教育委員会の多岐にわたる主要な取組みにもその点を十分反映させていかなければならないと考えております。

今後とも、教育行政に対しまして皆様方の温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

今こそ「米百俵の精神」で



新しい年を迎え、社会情勢が少し上向きになってきたという報道を聞くと、今年は良い年になるようにと、誰もが期待をすところではあります。

恵那市教育委員会においては、平成23年4月の生涯学習都市「三学のまち恵那」宣言に基づき、平成25年度から恵那市市民大学「恵那三学塾」を開講します。いよいよ恵那市の生涯学習が動き始めます。多くの市民の皆さんの参加を願っています。

大畑雅幸教育長

まだまだ行き先不安定な情勢ではありますが、10年、20年先の恵那市を考えた時、まずもって大切なことは、将来を担う子ども達への教育のことです。急速に進む少子化による学校の小規模化は、大きな悩みです。各地域、PTA 等の組織の中で話題にさせていただき、お知恵を聞かせていただければ幸いです。また、難しい社会であっても、粘り強く自分の人生を拓いていくことができる“人として強く賢い”人間を育てなければならぬと思います。言い換えれば、一人ひとりの子どもに“主体性の育成”を図ることが最も大切であると考えます。今こそ、幕末維新の時代の長岡藩※「米百俵の精神」に習い、物心両面を子どもたちに投資する必要があると思っております。子ども達を甘やかすのではなく、子ども達のことを軸足に置いて考えるということです。皆様のご理解とご協力をお願いします。

※「米百俵の精神」…長岡藩(新潟県)が飢饉のときにもらった米百俵を将来の人作り教育に役立てたこと

恵那市教育委員会委員の名簿

委員長、職務代理の任期は1年

職名	氏名	任期	職業
委員長	井口 道雄	平成 21 年 12 月 16 日～平成 25 年 12 月 15 日	無 職
委員長職務代理	鈴木 隆一	平成 22 年 12 月 16 日～平成 26 年 12 月 15 日	無 職
委員	龍田 和子	平成 23 年 12 月 16 日～平成 27 年 12 月 15 日	無 職
委員	鎌田基予子	平成 24 年 12 月 16 日～平成 28 年 12 月 15 日	主 婦
委員(教育長)	大畑 雅幸	平成 24 年 12 月 16 日～平成 28 年 12 月 15 日	無 職

教育委員視察研修



平洲記念館

教育委員会では、教育行政の遂行のために必要な見識を深めるため、教育委員による市内外の現場視察を行っています。平成 24 年度は市内学校視察のほかに、愛知県東海市と海部郡飛島村で市外視察研修を行いました。

東海市は細井平洲を核とした先人教育の先進地であり、恵那市が加盟する嚶鳴協議会の会長市でもあります。恵那市がめざす生涯学習のまちづくりの参考になるお話をきくことができました。

飛島村では、小中一貫教育校である飛島学園を視察しました。職員の方との意見交換や施設・授業見学などを通じて、特色ある教育について考えることができました。

また、岩村町と同じ国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている三重県の東海道関宿にも立ち寄り、ユニークな取り組み(関宿ワンコインウォーク)を体験してきました。



飛島学園での意見交換

クリスタルパーク恵那スケート場

～スケート今昔物語～

恵那市でのスケートの歴史は古く、厳寒な冬をもたらす風土から、早くからスケートが広まったと思われます。スケート靴が普及したのは比較的最近で、昔は下駄にスケートの歯(エッジ)をつけたものや、鍛冶屋にエッジを作ってもらい靴に紐などで固定してスケートを楽しんだようです。

スケートを行なう場所は、凍った農業用のため池や田んぼ、子どもたちは学校の校舎の日陰に水をまいて凍らせ滑っていました。現在は温暖化の影響であまり凍ることのない「保古の湖(東野)」が昔は結氷し、一日に何百人ものスケーターが滑走したそうです。

今の恵那市には、日本で一番西であり南にある国際規格の 400mスピードリンク「クリスタルパーク恵那スケート場」があります。昨年はぎぶ清流国体で大いに盛り上がりました。今年 2 月には、国内のトップ選手の参加により、全 5 戦で競われる※**ジャパンカップスピードスケート競技会第 4 戦**を、初めて恵那スケート場で開催します。皆さんぜひ観戦にお出かけください。



保古の湖でのスケートの様子



恵那スケート場競技会(国体)の様子

※ ジャパンカップスピードスケート競技会第 4 戦(恵那大会)

- ・ 開催日 平成 25 年 2 月 2 日(土)～3 日(日)
- ・ 入場無料

・新年あけましておめでとうございます。今年から教育委員会からの情報やメッセージを発信する「教育委員会だより」を発行することにいたしました。第 1 号は、昨年12月に選任された教育委員長と教育長からのメッセージをお届けいたします。今後は年4回で、各教育委員からのメッセージや、教育委員会の取り組んでいる事業などについてお知らせをしていく予定です。ご意見・ご感想などを教育委員会総務課までお寄せください。